

市民交流プラザ事業部

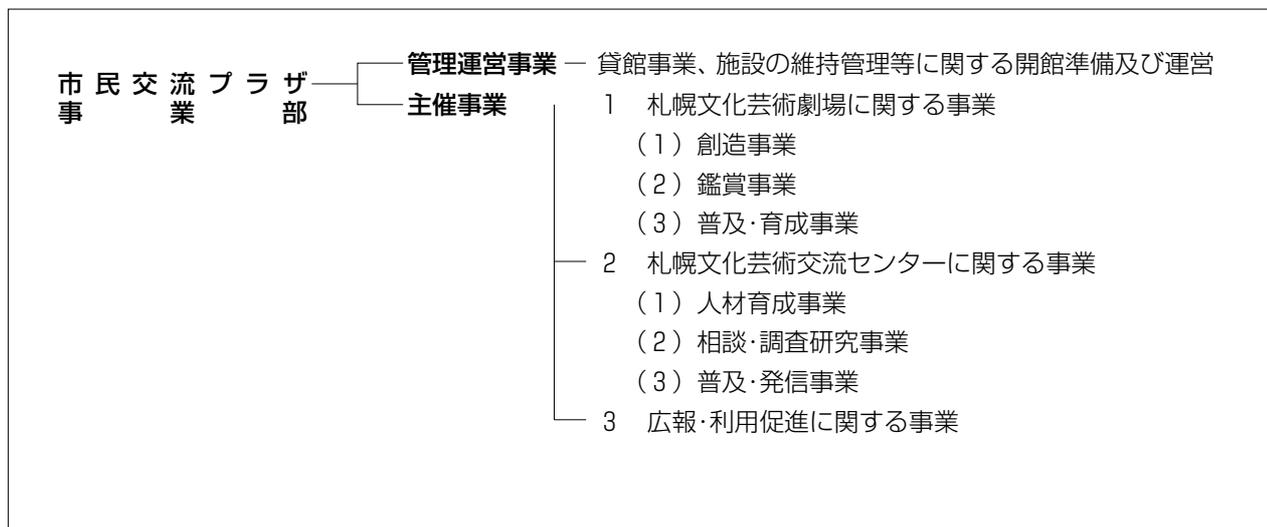


市民交流プラザ事業部

事業体系

定款第4条第1～2号に掲げる事業は、次により行った。

事業体系



管理運営事業

○札幌市民交流プラザ利用状況

			平成30年度実績
札幌文化芸術劇場	劇場	利用率	91.8%
		利用料金収入	80,259,330円
	クリエイティブスタジオ	利用率	96.2%
		利用料金収入	7,241,180円
	練習室等	利用率	60.4%
		利用料金収入	2,914,300円
札幌文化芸術交流センター (SCARTSコート、SCARTSスタジオ、SCARTSモール等)		利用率	90.6%
		利用料金収入	3,955,200円
利用料金収入合計			94,370,010円
総入場者数			420,731人
総来館者数 (札幌市図書・情報館含む)			1,129,107人

※平成30年10月7日開館

※利用料金収入には、利用取消手数料収入を含まない。

【参考】

平成27年度全国公立文化施設平均稼働率

大ホール (1,000席以上) : 58.3%

(出典 公益社団法人全国公立文化施設協会「平成28年度 劇場、音楽堂等の活動状況に関する調査研究報告書」)

主 催 事 業

札幌文化芸術劇場に関する事業

1 創造事業

道内初の多面舞台を備えたホールの機能を活用し、国内の劇場や地元芸術団体との共同制作など「創造の場」として、札幌発のオペラやバレエ等の舞台芸術を展開し、市民が質の高い芸術文化に触れる機会を提供した。

① グランドオペラ共同制作 ヴェルディ作曲 オペラ「アイダ」 **新規**

札幌文化芸術劇場hitaruのこけら落とし公演として、ローマ歌劇場と提携し、神奈川県民ホール、兵庫県立芸術文化センター、iichiko総合文化センター、札幌交響楽団等との共同制作によるグランドオペラ「アイダ」を開催した。



撮影：武田博治

期 日：平成30年10月7日（日）、8日（月・祝）

開演各日14:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）

公益財団法人神奈川芸術文化財団

兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団

公益財団法人東京二期会

公益財団法人札幌交響楽団

公益財団法人東京フィルハーモニー交響楽団

後 援：札幌市、札幌市教育委員会、イタリア大使館、
イタリア文化会館

助 成：文化庁（平成30年度劇場・音楽堂等機能強化推進事業）

協 賛：全日本空輸株式会社北海道支社

協 力：ローマ歌劇場

演 出：ジュリオ・チャバッティ

原演出：マウリツィオ・デイ・マッティア

出 演：アンドレア・バッティストーニ（指揮）

モニカ・ザネッティン／木下美穂子（アイダ）

福井敬／城宏憲（ラダメス）

清水華澄／サーニャ・アナスタシア（アムネリス）

今井俊輔／上江隼人（アモナズロ）

妻屋秀和／斉木健詞（ランフィス）

ジョン・ハオ／清水那由太（国王）

針生美智子／松井敦子（巫女）

菅野敦（伝令）

札幌交響楽団（管弦楽）

二期会合唱団、札幌文化芸術劇場アイダ合唱団（合唱）

陸上自衛隊北部方面音楽隊（バンド）

入場料：全席指定

S席16,000円 A席14,000円 B席10,000円

C席8,000円 D席5,000円 U25シート3,000円

入場者数：10月7日 2,108人

10月8日 2,080人

2 鑑賞事業

劇場の多面舞台と最新の舞台機能を活かし、国内外トップクラスのオペラ、バレエなど本格的舞台芸術による「鑑賞の場」を多彩な内容で広く市民に提供した。

① 新国立劇場バレエ団「白鳥の湖」 **新規**

北海道初となる新国立劇場バレエ団「白鳥の湖」を上演した。新国立劇場バレエ団ダンサーによる高度なテクニック、豊かな表現力やコール・ド・バレエのアンサンブルの比類なき美しさを存分に披露した。



撮影：ワイズフォトセレクション木本忍

期 日：平成30年11月23日（金・祝）、24日（土）

開演各日14:00

会 場：札幌市、札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）

市民交流プラザ事業部

主催事業

後 援：札幌市教育委員会、beyond2020プログラム
助 成：文化庁（平成30年度文化庁 文化芸術創造拠点
形成事業）
演 出：牧阿佐美
芸術監督：大原永子
出 演：アレクセイ・バクラン（指揮）
小野絢子（オデット・オディール）
福岡雄大（ジークフリード王子）
貝川鐵夫（ロートバルト）
関晶帆（王妃）
福田圭吾（道化）
寺田亜沙子／細田千晶／奥村康祐（23日）（王子の友人）
池田理紗子／飯野萌子／渡邊峻郁（24日）（王子の友人）
ほか新国立劇場バレエ団
札幌交響楽団（管弦楽）

入場料：全席指定

S席11,000円 A席8,000円 B席6,000円
C席4,000円 D席3,000円 U25シート2,000円

入場者数：11月23日 1,986人
11月24日 2,005人

<関連事業>

「クラスレッスン見学会」

新国立劇場バレエ団の質の高いバレエを身近に感じていただくために、ダンサーによるバーレッスンはじめ、リハーサルや公演に向けて心身共に整える貴重な時間帯における見学会を実施した。



撮影：ワイズフォトセレクション木本忍

期 日：平成30年11月23日（金・祝）、24日（土）
10:45～12:00
会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru
出 演：新国立劇場バレエ団
入場料：全席自由 500円
入場者数：11月23日 236人
11月24日 212人

②ユジャ・ワン ピアノリサイタル 新規

世界でもっとも注目されているピアニストの一人であり、札幌文化芸術劇場のスタインウェイ社製ピアノ選定者でもあるユジャ・ワンによる北海道初となるピアノリサイタルを開催。迫力の超絶技巧と繊細さ、自由で斬新な解釈と確かなテクニックに裏打ちされた精密さを兼ね備えた演奏で観客を魅了した。



撮影：武田博治

期 日：平成30年12月4日（火）開演19:00
会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru
主 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）
後 援：札幌市、札幌市教育委員会、中華人民共和国駐
札幌総領事館、北海道日中友好協会
出 演：ユジャ・ワン
曲 目：ラフマニノフ
ヴォカリーズ 作品34-14
10の前奏曲 作品23より 第5番 ト短調
練習曲集「音の絵」作品39より 第5番 変ホ短調
ショパン
ピアノ・ソナタ 第3番 ロ短調 作品58
シューベルト／リスト編曲
糸を紡ぐグレートヘン S. 558-8
グルック
歌劇「オルフェオとエウリディーチェ」より
精霊の踊り（メロディー）
ビゼー／ホルヴィッツ編曲
カルメンの主題による前奏曲（第2幕 ジプシーの歌）
カプースチン
8つの演奏会用練習曲 作品40より
第3番 トッカティーナ
リゲティ
ピアノのための練習曲集 第2巻より
第10番 魔法使いの弟子
ブラームス
6つの小品 作品118より 第2番 間奏曲
メンデルスゾーン

無言歌集 作品67-2「失われた幻影」
 ブラームス
 3つの間奏曲 作品117より 第3曲
 ショパン
 ワルツ 第7番 嬰ハ短調 作品64-2
 ブラームス/シフラ編曲
 ハンガリー舞曲集 第5番
 プロコフィエフ
 トッカータ 作品11
 アルトゥロ・マルケス
 ダンソン 第2番
 モーツァルト/ヴォロドス、サイ、ユジャ・ワン編曲
 トルコ行進曲

入場料：全席指定

S席8,000円 A席6,000円 B席4,000円

U25シート1,500円

入場者数：1,615人

③hitaru 午後のひととき

市内中心部の地下鉄駅直結という劇場の優れた立地条件を活用し、夜間や休日など通常のコンサート等に来場が難しい主婦層や高齢者層に気軽に芸術に触れていただく目的で、平日の午後に、親しみやすい選曲によりコンサートを開催した。

(1) ～華麗なるフィギュアスケートの世界～ **新規**

世界中で人気のフィギュアスケートをテーマに、ジョン・健・ヌッツォと、次年度実施予定の主催事業「トゥーランドット」に出演する中村恵理という世界で活躍する実力派歌手を迎え、華麗なるフィギュアスケーターたちが舞ったオペラ・バレエの名曲の数々を、大友直人率いる札幌交響楽団により演奏した。



撮影：武田博治

期 日：平成31年2月7日（木） 開演14:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

出 演：大友直人（指揮）

中村恵理（ソプラノ）

ジョン・健・ヌッツォ（テノール）

札幌交響楽団（管弦楽）

わたなべゆうか（ナビゲーター）

曲 目：ヨハン・シュトラウス2世

喜歌劇「こうもり」序曲

プッチーニ

歌劇「ラ・ボエーム」より

私が街を歩けば（ムゼッタのワルツ）

レオンカヴァッロ

歌劇「道化師」より 衣裳をつけろ

プッチーニ

歌劇「ジャンニ・スキッキ」より

私の大好きなお父さん

歌劇「トスカ」より 星は光りぬ

サン＝サーンス

歌劇「サムソンとデリラ」より バッカナール

プッチーニ

歌劇「蝶々夫人」より ある晴れた日に

歌劇「トゥーランドット」より 誰も寝てはならぬ

ヴェルディ

歌劇「椿姫」より 乾杯の歌

チャイコフスキー

バレエ「白鳥の湖」大友セレクション

入場料：全席指定

S席4,000円 A席3,000円 U25シート1,500円

入場者数：1,042人

市民交流プラザ事業部

主催事業

(2) ～心躍る映画音楽～

新規

久石譲とジョン・ウィリアムズという映画音楽の巨匠二人の作品の中から、誰もが楽しめるプログラムの演奏会を開催した。札幌出身の若きマエストロ太田弦指揮により、フレッシュで力強いサウンドとともに、懐かしい映画のワンシーンを思い浮かべるような、午後のひとときを提供した。



撮影：武田博治

期 日：平成31年 3月20日（水） 開演14:00
会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru
主 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）
後 援：札幌市、札幌市教育委員会
出 演：太田弦（指揮）
札幌交響楽団（管弦楽）
SORA（ナレーション）
わたなべゆうか（ナビゲーター）

曲 目：久石譲
魔女の宅急便
オーケストラ・ストーリーズ
「となりのトトロ」（ナレーション付）
「千と千尋の神隠し」より あの夏へ
J. ウィリアムズ
「E.T.」より フライングテーマ
「ジュラシック・パーク」テーマ
「インディ・ジョーンズ」より レイダース・マーチ
「スター・ウォーズ」組曲

入場料：全席指定
S席4,000円 A席3,000円 U25シート1,500円
入場者数：849人

④市民交流プラザ開館記念連携事業

新規

札幌市民交流プラザの開館を記念して、その機運とともに盛り上げる目的で、財団内各事業部と連携し、施設特性を生かした多彩な事業を開催した。

(1) オペラの衣裳と舞台美術 煌く「アイダ」の世界

新規

こけら落とし公演「アイダ」に合わせ、新国立劇場から借り受けた衣裳等約66点を本郷新記念札幌彫刻美術館で展示した。また、会期中にはアイダ合唱団メンバーによるミュージアムコンサートを開催するなど、本公演を盛り上げた。



期 日：平成30年 7月27日（金）～10月25日（木）
[※9月6日（木）～13日（木） 臨時休館]
71日間
会 場：本郷新記念札幌彫刻美術館 本館
主 催：本郷新記念札幌彫刻美術館（札幌市芸術文化財団）
後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会
特別協力：新国立劇場
観覧料：一般600円 65歳以上500円 高大生400円
中学生以下無料
入場者数：3,494人

(2) <KitaraランチタイムコンサートⅡ> IL DEVU（イル・デーヴ）

新規

札幌文化芸術劇場開館にちなみ、オペラの名曲などを盛り込んだ演奏会を札幌コンサートホールで開催した。また、公演当日には、ホワイエにて札幌市民交流プラザのパネルを多数設置するなど、新施設のPRに努めた。



期 日：平成30年11月10日（土） 開演13:00
会 場：札幌コンサートホール 大ホール

主催：札幌コンサートホール（札幌市芸術文化財団）

後援：札幌市、札幌市教育委員会

出演：IL DEVU（クラシック・ボーカル・アンサンブル）
シモン・ボレノ（オルガン・第20代札幌コンサートホール専属オルガニスト）

入場料：全席指定

一般2,500円 U25 1,000円

（KitaraClub会員割引 一般500円引）

入場者数：808人

（3）札幌芸術の森バレエセミナー 30周年記念公演 **新規**

札幌市民交流プラザの開館とともに札幌芸術の森バレエセミナー開講30周年を記念し、パリ・オペラ座とスペイン国立ダンスカンパニー・東京バレエ団協力のもと、オーディション合格者や札幌出身の西野隼人・小倉友梨香をはじめ豪華出演者によるスペシャル・ガラ公演を開催した。



期 日：平成31年2月2日（土） 開演16:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、株式会社北海道新聞社、北海道テレビ放送株式会社

特別協力：スペイン国立ダンスカンパニー、パリ・オペラ座、東京バレエ団

協 力：チャコット、オフィスエム・ツー、札幌日仏協会／アリアンスフランセーズ、北海道スペイン協会

助 成：駐日スペイン大使館、一般財団法人地域創造、公益財団法人朝日新聞文化財団、公益財団法人廣西・ロジネットジャパン社会貢献基金

出 演：スペイン国立ダンスカンパニー ほか

入場料：全席指定

S席8,000円（高校生以下4,000円）

A席5,000円（高校生以下3,000円）

当日券各1,000円増

入場者数：1,728人

⑤クリエイティブスタジオ活用事業 **新規**

市内文化芸術団体等との連携により、舞踊・演劇・伝統芸能など多様なジャンルの実演芸術の創造と鑑賞の機会を市民へ提供し、文化芸術活動の活性化を促進した。

（1）Co. 山田うん「結婚」／

山田うん コレクティブダンサーズ「春の祭典」

クリエイティブスタジオのこけら落とし公演として、国内外で活躍する振付家・ダンサー 山田うんが主宰するダンスカンパニーの作品「結婚」と、オーディションにより選ばれた12人のダンサーたちによる「春の祭典」を上演した。



撮影：Kenzo Kosuge

期 日：平成30年10月27日（土）、28日（日）

開演各日14:00

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

演出・振付：山田うん

作 曲：イーゴリ・ストラヴィンスキー

出 演：川合ロン 山田うん／

山田うん コレクティブダンサーズ

入場料：全席自由 一般前売2,500円 当日3,000円

U25シート前売1,500円 当日2,000円

入場者数：10月27日 188人

10月28日 183人

市民交流プラザ事業部

主催事業

(2) サミュエル・ベケット作「ゴドーを待ちながら」

ノーベル文学賞作家サミュエル・ベケットの不朽の名作「ゴドーを待ちながら」を北海道演劇財団芸術監督の斎藤歩が演出。札幌と東京の実力俳優陣の共演と、札幌出身で日本を代表する舞台美術家の鳥次郎によりクリエイティブスタジオ初の演劇公演を行うとともに、公演を一層盛り上げる目的に関連イベントを併せて実施した。



撮影：高橋克己

期 日：平成30年12月17日(月)～25日(火) 全10回公演

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：市民交流プラザ(札幌市芸術文化財団)、公益財団法人北海道演劇財団、NPO法人札幌座くらぶ

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁(平成30年度劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

演 出：斎藤歩

作 品：サミュエル・ベケット作「ゴドーを待ちながら」

出 演：斎藤歩(札幌座)、納谷真大(イレブンナイン)、福士恵二、高田恵篤(演劇実験室●万有引力)、鶴田茉夕(劇団ひまわり)

入 場 料：全席自由 一般4,000円 学生2,000円
高校生以下1,000円

入 場 者 数：2,048人

<「ゴドーを待ちながら」公演関連イベント>

1. シアターZOOラボトークセミナーVol. 2 劇場のことを考える

まつもと市民芸術館芸術監督の串田和美を招聘し、劇場について考察するシアターZOOラボトークセミナーを開催した。

期 日：平成30年10月10日(水) 開演19:00

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：公益財団法人北海道演劇財団、NPO法人札幌座くらぶ、市民交流プラザ(札幌市芸術文化財団)

出 演：串田和美(まつもと市民芸術館 芸術監督)

斎藤歩(北海道演劇財団 芸術監督)

入 場 料：全席自由 1,000円

入 場 者 数：134人

2. 「ゴドーを待ちきれなくて」

斎藤歩、納谷真大ほか本公演の出演者によるトークショーを札幌市図書・情報館で開催した。

期 日：平成30年12月14日(金) 開演18:30

会 場：札幌市図書・情報館 1階サロン

主 催：札幌市図書・情報館、市民交流プラザ(札幌市芸術文化財団)

出 演：斎藤歩(札幌座)、納谷真大(イレブンナイン)、福士恵二、高田恵篤(演劇実験室●万有引力)、鶴田茉夕(劇団ひまわり)

入 場 料：無料

入 場 者 数：93人

(3) スペクタクル3D能「平家物語」

能楽シテ方観世流の坂口貴信による「平家物語」から能の演目「熊野(ゆや)」と「船弁慶」のハイライトシーンを、新しい試みとして映像作家の奥秀太郎による3D映像とともに北海道で初めて上演した。また、15日には終演後にポストパフォーマンストークを実施し、鑑賞をより意義深いものとした。



撮影：Kenzo Kosuge

期 日：平成31年2月15日(金) 開演18:30

16日(土) 開演①11:00

②14:00

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：市民交流プラザ(札幌市芸術文化財団)

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

企画制作：一般財団法人観世文庫

演 出：奥秀太郎

出 演：坂口貴信

入 場 料：全席自由 一般3,500円 U25シート2,000円

入場者数：2月15日 169人
2月16日 ①179人 ②178人

(4) フォーラム 世界演劇史・日本演劇史

長島確と平田オリザを講師に招き、演劇に関する歴史を学ぶフォーラムを開催した。同時代を生きる演出家や作家の作品を鑑賞することの意味についても考え、今後の舞台鑑賞をより豊かにする内容とした。



撮影：Kenzo Kosuge

期 日：平成31年3月16日（土）
会 場：クリエイティブスタジオ
主 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）
後 援：札幌市、札幌市教育委員会
講 師：長島確（ドラマトゥルク、フェスティバル／
トーキョーディレクター）
平田オリザ（劇作家、演出家）
聞き手：斎藤歩（公益財団法人北海道演劇財団専務理事・芸術監督）
入場料：全席自由 2,000円
入場者数：183人

3 普及・育成事業

先進の舞台芸術を広く市民に紹介するとともに、舞台芸術活動の将来を担う世代の育成を目的に、多彩な芸術文化作品の提供と、魅力的で芸術性の高い参加型事業を展開した。

① アイダ合唱団育成事業 新規

札幌文化芸術劇場のこけら落としであるオペラ「アイダ」公演に向け、地域としての関わりを強化する一環として、オーディションによって選抜された地元合唱団を結成した。



期 日：平成30年4月～9月 全9回
会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru、クリエイティブスタジオ
ほか
主 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）
合唱指導：大木秀一
ピアノ：鎌倉亮太、雪田理菜子
参加者数：16人

② 新国立劇場バレエ団プリンシパルダンサーのピアノの生演奏による！バレエ経験者向けワークショップ 新規

新国立劇場バレエ団「白鳥の湖」公演に合わせ、市民がバレエに対する理解をより深め、さらに興味をもつ契機となるよう、新国立劇場バレエ団の現役ダンサーによる、バレエ経験者を対象としたワークショップを開催した。



期 日：平成30年12月8日（土） 18:00～20:35
会 場：札幌市教育文化会館 小ホール
主 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）
後 援：札幌市教育委員会
助 成：文化庁（平成30年度文化庁 文化芸術創造拠点形成事業）
講 師：菅野英男
ピアノ：圓井晶子
受講料：4,000円
見学科：1,000円
受講者数：29人
見学者数：50人

市民交流プラザ事業部

主催事業

③青少年向けバレエ鑑賞事業

新規

市内の中学2年生約2,000人を劇場に招待し、バレエ公演の鑑賞を通じて人間性豊かな心を育むよう、世界で活躍する東京バレエ団による古典バレエの代表作「白鳥の湖」と、現代バレエの傑作「ボレロ」の解説付きオリジナルプログラムにより、本格的な舞台芸術を鑑賞する機会を提供した。



撮影：Yui Iida

期 日：平成31年1月21日（月） 開演14:00
会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru
主 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）
後 援：札幌市、札幌市教育委員会
特別協賛：株式会社ニトリ
出演者：「白鳥の湖」第2幕
オデット／川島麻実子
ジークフリート王子／秋元康臣
「ボレロ」メロディ／柄本弾
ほか チャイコフスキー記念 東京バレエ団

入場料：全席エリア指定 無料

参加学校数：20校

参加生徒数：1,916人

④公募企画事業

新規

開館から1年間のオープニングシリーズを地域一体となって盛り上げるため、市内で継続的に活動する文化芸術団体を対象に舞台芸術公演の企画を公募し、採択された5つの企画（うち1企画は2019年度実施）に対して舞台技術等のサポートを積極的に行い、バレエやオペラ、ダンス等様々な企画を実現させた。また、各企画に関連した教育プログラムやワークショップなどの併催事業を無料で開催し、市民が気軽に参加できる機会を提供した。

(1) 第39回全道バレエフェスティバル・イン・サッポロ バレエ「ドン・キホーテ」

札幌出身で日本を代表する演出・振付家 篠原聖一が手掛けた作品に、バレエ界屈指の実力者である酒井はな、

福岡雄大をゲストに迎え、オーディションで選ばれた道内のダンサー約130人が出演した。



撮影：フォトワークス_西岡克浩

期 日：平成30年10月14日（日） 開演16:00
会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru
主 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）、公益
社団法人日本バレエ協会
共 催：株式会社北海道新聞社
後 援：北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教
育委員会
演出・振付：篠原聖一
芸術監督：石川みはる
出 演：磯部省吾（指揮）
札幌シンフォニエッタ（演奏）
酒井はな、福岡雄大、榊竹真也、木村仁秀、小
原孝司 ほか
入場料：全席指定
S席8,000円 A席7,000円 B席5,000円
入場者数：2,039人

<併催事業>

バレエ「白鳥の湖」レクチャー<踊り・マイムを交え>

新国立劇場バレエ団による11月23日の「白鳥の湖」公演に向けて、作品のあらすじや見どころとダンサーによる実演も交えて、わかりやすく解説した。



期 日：平成30年11月10日（土） 開演14:00
会 場：クリエイティブスタジオ

企画・講義：千葉るり子

出演：公益社団法人日本バレエ協会北海道支部所属会員

参加者数：139人

(2) 札幌舞踊会 創立70周年記念公演 バレエ「カルミナ・ブラーナ」

札幌舞踊会の創立70周年記念公演として、人間の一大叙事詩を集めたカール・オルフ作曲による「カルミナ・ブラーナ」を、照明や美術などを一新し上演した。



撮影：スクエア_鈴木紳司

期 日：平成30年12月15日（土） 開演17:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）、札幌舞踊会

後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会、株式会社北海道新聞社、株式会社朝日新聞北海道支社、北海道テレビ放送株式会社、株式会社STVラジオ、株式会社エフエム・ノースウェーブ

振 付：千田雅子

出 演：坂本登喜彦、高岸直樹、西野隼人、郷翠 ほか

入場料：全席指定

SS席8,000円 S席7,000円 A席5,000円

B席4,000円

入場者数：2,078人

<併催事業>

「カルミナ・ブラーナ」と現代ダンスのいま

12月15日の本公演に先駆け、舞踊評論家のうらわまことによるレクチャーと公演に出演するダンサーによるデモンストレーションやトークセッションを行った。



期 日：平成30年11月15日（木） 19:00～20:15

会 場：クリエイティブスタジオ

講 師：うらわまこと

トーク：うらわまこと、千田雅子

出 演：札幌舞踊会

参加者数：142人

(3) PRIMITIVE

1人の女性が古代から未来まで4つの時代と異次元空間を体現しつつ人間の根源を探し求めたprimitive（根源、始まり）というコンセプトのもと、ダンサー、合唱団、歌手、ギタリスト、縄文太鼓奏者など総勢200人以上の出演者と実験的な美術、映像、照明による先進的な札幌オリジナル舞台を上演した。



撮影：yixtape

期 日：平成31年2月11日（月・祝） 開演18:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）、PRIMITIVE実行委員会

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

演 出：端聡、畠中秀幸、大島慶太郎、森嶋拓、木野哲也

入場料：全席指定

市民交流プラザ事業部

主催事業

S席5,000円 A席3,000円 B席2,000円
学生自由席1,000円

入場者数：1,237人

<併催事業>

フィルム映像ワークショップ<あなたの作品が舞台に！>
「ダンシングラインアニメーション～ペン1本で映画は作れる」

映像作家・大島慶太郎による、現在では貴重な素材となった映画フィルムを用いて、即興でアニメーション映画を作製するワークショップを実施した。



期 日：平成31年1月6日（日） ①13:00～15:00
②15:30～17:30

会 場：SCARTSコート

講 師：大島慶太郎

入場者数：①9人 ②10人

(4) 北海道二期会オペラ ヴェルディ作曲「椿姫」

北海道二期会が55周年を迎える節目の年に、有名な「乾杯の歌」をはじめ、名曲がちりばめられたオペラ史上に輝くヴェルディの代表作オペラ「椿姫」を開催した。



撮影：高橋勇弥

期 日：平成31年3月10日（日） 開演14:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）、一般
社団法人北海道二期会

共 催：株式会社北海道新聞社

後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会、北海道日
伊協会、札幌音楽家協議会、NPO法人北海道国
際音楽交流協会HIMES、株式会社ヤマハミュージック
リテイリング札幌店

演 出：岩田達宗

出 演：現田茂夫（指揮）

札幌交響楽団（管弦楽）

佐々木アンリ（ヴィオレッタ）

岡崎正治（アルフレード）

岡元敦司（ジェルモン）ほか

入場料：全席指定

SS席14,000円 S席12,000円 A席10,000円

B席8,000円 C席5,000円 D席3,000円

入場者数：2,069人

<併催事業>

2019年度実施予定

札幌文化芸術交流センターに関する事業

1 人材育成事業

文化芸術活動を行う上で重要な観点や知識に関する講座の提供や、ボランティアな活動を通して文化芸術と人々をつなぎ、地域コミュニティを活性化させる創造的な市民を育成するための講座や実践活動を通して、札幌の文化芸術活動の質の向上を図ることを目的とした事業を実施した。

① SCARTSアートコミュニケーション事業 **新規**

札幌市民交流プラザを拠点に、アーティストや文化芸術に関わる専門家、SCARTSのスタッフとともに「市民とアートのつなぎ手」としてボランティアな活動を展開する「SCARTSアートコミュニケーター」35名を募集し、講座や実践活動に取り組んだ。



(1) 説明会

期 日：平成30年 6月30日 (土)

会 場：道新プラザDO-BOX

出 演：伊藤達矢 (東京藝術大学美術学部特任准教授
／とびらプロジェクト・マネージャ)

入場料：無料

入場者数：83人

(2) 講座

① オリエンテーション

期 日：平成30年 8月18日 (土)

会 場：SCARTSスタジオ

② 仲間を知ろう

期 日：平成30年 9月 1日 (土)

会 場：SCARTSスタジオ

講 師：納谷真大 (俳優・演出家)

③ アートってなんだろう？

期 日：平成30年 9月22日 (土)

会 場：SCARTSスタジオ

講 師：佐藤悠 (アーティスト)

④ 作品を鑑賞するとは？

期 日：平成30年10月20日 (土)

会 場：SCARTSミーティングルーム 1・2

講 師：山崎正明 (北翔大学教育文化学部教授)

⑤ アーティストを知ろう

期 日：平成30年11月 3日 (土・祝)

会 場：SCARTSミーティングルーム 1・2

講 師：古家昌伸 (北海道新聞文化部編集委員)

アートステージ2018出展アーティスト

(伊藤幸子、経塚真代、久野志乃、森迫暁夫)

⑥ 対話型鑑賞サポートに挑戦

期 日：平成30年11月10日 (土)

会 場：SCARTSミーティングルーム 1・2

⑦ ワークショップでつくる学びの場

期 日：平成30年12月 1日 (土)

会 場：SCARTSミーティングルーム 1・2

講 師：館野泰一 (立教大学経営学部助教)

⑧ モノが結ぶコミュニケーションの場をつくる

期 日：平成30年12月 8日 (土)

会 場：SCARTSミーティングルーム 1・2

講 師：大月ヒロ子 (ミュージアムエデュケーション
プランナー)

⑨ 企画を立ててみよう (1)

期 日：平成31年 1月19日 (土)

会 場：SCARTSミーティングルーム 1・2

講 師：川上りえ (アーティスト)

⑩ 企画を立ててみよう (2)

期 日：平成31年 2月23日 (土)

会 場：控室403・404

(3) 実践活動

① さっぽろアートステージ2018 対話型鑑賞サポート
一般の来館者を対象に、「さっぽろアートステージ
2018」の作品について、アートコミュニケーターによる

市民交流プラザ事業部

主催事業

鑑賞サポートを実施した。

期 日：平成30年11月23日（金・祝）

会 場：SCARTSモールA・B・C

参加者数：43人

②「つながる はじまる たんけんたい～人と道具に出会う旅～」

SCARTSアートコミュニケーターがファシリテーターとなり、参加した小学生と共に、清掃、警備、設備保守、図書館司書など、札幌市民交流プラザで働く様々なスタッフの仕事道具を見せてもらいながら、施設を探検するツアーを開催した。

期 日：平成31年1月6日（日）

会 場：市民交流プラザ

参加者数：21人

③川上りえ個展「Landscape Will 2019」鑑賞プログラム

石狩を拠点に道内各地で活動する美術家の川上りえの個展に合わせて、アートコミュニケーターが鑑賞プログラムの企画立案・運営を行なった。彫刻作品の開口部が作り出す影をかたどって缶バッジを作ったり、作品の感想を書いたカードを会場に掲示したりと、様々な形で作品鑑賞を誘発する試みを行なった。

期 日：平成31年2月23日（土）

会 場：SCARTSスタジオ

参加者数：113人

②SCARTSレクチャーシリーズ **新規**

文化政策、アートマネジメント等、文化芸術活動を行う上で重要な観点や知識についての講座を提供し、札幌の文化芸術活動の質の向上を図ることを目的に実施した。レクチャー終了後には、情報交換会を開催し、登壇者や参加者同士の交流を図った。

(1) 開館記念シンポジウム「文化がつくる、地域のアイデンティティ」

「文化がつくる、地域のアイデンティティ」をテーマに、文化政策的視点に立った基調講演と、道内各地での地域に根ざした文化芸術活動の事例紹介・パネルディスカッションを実施した。基調講演では、「文化の総点検」 「再構築」をキーワードに、地域に潜んでいる魅力をもう一度磨き、住民が誇りや自信を取り戻すような取り組みの重要性についてのレクチャーを実施した。パネルディスカッションでは、それぞれの地域の特性を活かした取り組みについて、3名による事例紹介を行った。

また、シンポジウム終了後には、情報交換会を開催し、登壇者や参加者同士の交流を図った。



期 日：平成30年11月11日（日） 14:00～18:00

会 場：SCARTSコート

主 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）

後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会、公益財団法人北海道文化財団

出 演：青柳正規（前文化庁長官／山梨県立美術館館長）
柴田尚（NPO法人S-AIR代表／北海道教育大学
岩見沢校教授）
漢幸雄（あさひサンライズホール館長）
吉里演子（東川町文化ギャラリー学芸員／東
川町写真の町課職員）
吉崎元章（札幌文化芸術交流センター SCARTS
プログラムディレクター）

入場料：無料（情報交換会は500円）

入場者数：67人

(2) 「アートを届ける・人を育む、文化事業企画・運営の仕事」

「アートを届ける、人を育む、文化事業企画・運営の仕事」をテーマに、アーティストと地域住民、大人と子どもが同じ目線で楽しみながらアートを“体感”している映像等を通して、北海道文化財団で行われている様々な文化事業イベントについて知る機会となった。また、文化事業を企画する上で重要となるコーディネーターの役割として、ワークショップを行うアーティストを選定する際のポイント等のレクチャーを実施した。

レクチャー終了後には情報交換会を開催し、講師や参加者同士の交流を図った。



期 日：平成31年 1月10日（木） 14:00～17:00
会 場：SCARTSコート
主 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）
後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会、公益財団法人北海道文化財団
出 演：村山和佳子（公益財団法人北海道文化財団チーフマネージャー）
 樋泉綾子（札幌文化芸術交流センター SCARTS キュレーター）
入場料：無料（情報交換会は1,000円）
入場者数：47人

(3) 「“未来” から逆算する、公立文化施設の広報戦術」

「“未来” から逆算する、公立文化施設の広報戦術」をテーマに、いわきアリオスにおける事例として、SNSをはじめとする各広報媒体を連動させた、実践的な広報活動の方法から、地域の課題と向き合い、市民と関わりながらつくる公立文化施設のあり方についてレクチャーを実施した。

レクチャー終了後には情報交換会を開催し、講師や参加者同士の交流を図った。



期 日：平成31年 2月21日（木） 14:00～17:00
会 場：SCARTSコート
主 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）
後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会、公益財団法人北海道文化財団
出 演：長野隆人（いわき芸術文化交流館アリオス広報グループチーフ）
入場料：無料（情報交換会は1,000円）
入場者数：42人

市民交流プラザ事業部

主催事業

(4)「アートを支える組織のためのファンドレイジング概論」

組織のファンドレイジングにおいては明確かつ分かりやすいミッションを定めることや自組織を客観的に見つめる視点が必要であることがレクチャーで示され、実在する組織の「強み」と「弱み」について意見を述べてもらうグループワークも行った。文化に携わる組織・団体におけるファンドレイジングについての実践的な学びの場となった。



期 日：平成31年 3月20日（水） 14:00～17:00

会 場：SCARTSコート

主 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）

後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会、公益財団法人北海道文化財団

出 演：金谷重朗（株式会社kino・international／NPO法人東京フィルメックス実行委員会／早稲田大学文学部非常勤講師）

入場料：無料（情報交換会は1,000円）

入場者数：28人

2 相談・調査研究事業

アーティストや文化芸術団体のキャリアアップや活動の活性化および質の向上を図ることを目的とし、文化芸術に関する情報の収集・発信できる場の提供をはじめ、アーティストや文化芸術団体等の活動支援に関するサービスを実施した。

①SCARTSインフォメーションカウンター **新規**

窓口にはスタッフが常駐し、市民交流プラザ及び市内他施設で行われる文化イベントや、市民交流プラザの施設利用に関する問い合わせ、文化芸術に関するイベントチラシの持ち込み等に対応した。

②文化芸術に関する情報発信 **新規**

大通情報ステーションから提供される文化芸術に関する情報を元に、ウェブ内で「さっぽろArt & Culture インフォメーション」を公開した。お気に入り登録やGoogleカレンダーに登録することで、自分好みのイベント情報を収集できる機能を持たせた。別ページの「SCARTS CROSS TALK」では、札幌にゆかりのあるアーティストや、文化に関わる活動をしている方をゲストに迎えて札幌市民交流プラザスタッフとの対談を公開した。

③文化芸術活動サポートサービス **新規**

ウェブ上に市内の文化施設やアートスペース情報、助成金情報、公募情報、市内のアートボランティア紹介、外部リンク集を公開することでアーティストや文化団体の活動の支援を行った。

④対面相談サービス **新規**

アーティストや文化団体の活動を支援し、市内の文化活動の活性化や質の向上に資することを目的に、事前予約制で、アーティストや文化団体からの問い合わせ（活動場所、広報手段、助成金等）に対する情報提供やアドバイスをを行った。

3 普及・発信事業

話題性のある優れた文化芸術や、市民が文化芸術に気軽に触れる機会を提供する等、施設の多様な使用方法を示すことで、市民交流プラザ、文化芸術交流センターの開館を広く周知することに繋がるイベントを実施した。

①堀尾幸男 舞台美術展 乱反射 **新規**

TEAM NACSや中島みゆき、野田秀樹など第一線で活躍する演出家や脚本家の舞台美術を手掛ける、日本を代表する舞台美術家・堀尾幸男の舞台模型や図面、舞台上で使用した小道具等を展示した。



期 日：平成30年10月7日（日）～28日（日） 9:00～21:00
 ※10月11日（木）～15日（月）は会場都合の
 為、休催

会 場：SCARTSコート

主 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）

後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会、beyond
 2020プログラム、北海道みらい事業

協 力：HORIO工房

作 家：堀尾幸男（舞台美術家）

入場料：無料

入場者数：19,097人

〈関連事業〉

（1）トークイベント

堀尾幸男舞台美術展にあわせて実施した作家本人によるトークショー。これまで手掛けた舞台美術作品について、演出家・脚本家とのエピソードを交えながら解説した。

期 日：平成30年10月16日（火） 19:00～20:30

会 場：SCARTSスタジオ

出 演：堀尾幸男（舞台美術家）

愛海夏子（シークレット歌劇団0931主宰）

入場料：無料

入場者数：66人

（2）関連映像上映

10月16日に実施したトークイベントの要約版の他、堀尾幸男が過去に出演した特集番組の上映を行った。

期 日：平成30年10月22日（月）～25日（木）

会 場：SCARTSスタジオ

入場料：無料

入場者数：108人

（3）日本舞台美術家協会ワークショップ

①「かみのげきじょう」

堀尾幸男が舞台セットなどをつくり上げる際に活用している素材「紙」をテーマとした未就学児・小学生向けのワークショップを開催。様々な種類の紙を使って帽子や絵本を作成したほか、室内の空間に生き物や風景を自由に描いてもらう「かみの空間あそび」を実施した。

②「一本の線から～メタモルフォーゼってなに？」

演劇や美術に興味を持つ市内の中学生・高校生・大学生を対象として、舞台美術や演劇的パフォーマンスに関するワークショップを開催。点と線で構成された

絵を作成し、その作品から得たインスピレーションを身体で表現する小演劇パフォーマンスを創作した。

期 日：①平成30年10月7日（日）～8日（月・祝）
 10:00～16:00

②平成30年10月27日（土）～28日（日）
 10:00～16:00

会 場：SCARTSスタジオ

講 師：①長峰麻貴、仲村祐妃子、大野洋平（以上、舞台美術家）

②堀尾幸男、長峰麻貴、秋山光洋（以上、舞台美術家）、白神ももこ（ダンサー）

入場料：①②無料

入場者数：①591人

②22人

26. 遠野物語 奇っ怪其ノ参
(世田谷パブリックシアター、他/2016年10月31日-11月20日)
26-1 舞台模型 / 2018 / 150×425×362

27. 備前城の七人(花・極)
(HIステーションアラウンド東京/
〈花〉2017年3月30日-6月12日、〈極〉2018年3月30日-5月31日)
27-1 舞台模型 / 2018 / 200×650×600
27-2 道具帳
27-3 美術プランスケッチ
27-4 チラシ(花・極)

28. TEAM NACS 第16回公演
PARAMUSHIR〜信じ続けた士魂の旗を掲げて〜
(ニトリ文化ホール、他/2018年2月3日-4月1日)
28-1 舞台模型 / 2018 / 250×490×410
28-2 美術プランスケッチ
28-3 舞台写真
28-4 チラシ

29. セリアの理髪師
29-1 ポスター(1987)
29-2 ポスター-習作1(1987)
29-3 ポスター-習作2(1987)
29-4 ポスター-習作3(1987)

30. 平面作品
30-1 「きみみずきん」背景画
30-2 「シモン・ポツカネグラ」エレベーション
30-3 「化粧」エレベーション
30-4 「大使との20分」道具帳
30-5 「おのれナレオン」エレベーション
30-6 「マタ・ハリ」色道具帳
30-7 「南へ」色道具帳
30-8 「深川しぐれ」エレベーション
30-9 「滝沢家の内乱」色道具帳
30-10 「ディア・ライヤー」エレベーション
30-11 「中島みゆきコンサート」エレベーション
30-12 ベルリン留学中の似顔絵サイン

その他
1 HORIO小道具(焚き火)
2 「7人くらの兵士」使用幕
3 「備前城の七人」使用ミラー
4 「夜会Vol.5」使用小道具(街灯)
5 「夜会工場」使用小道具(椅子)
6 「遠い夏のごっこ」使用小道具(椅子)
7 「ファイガロの結婚」使用小道具
8 「おのれナレオン」使用小道具
9 私は飯が減った
10 野田秀樹メッセージ映像

16. TEAMNACS ニッポン公演
WARRIOR〜唄い続ける侍ロマン
(札幌市民ホール、他/2012年3月30日-6月10日)
16-1 舞台模型 / 2018 / 190×520×370

17. 三文音楽 其れ成心中
(PARCO劇場、他/2012年8月11日-8月22日)
17-1 舞台模型 / 2018 / 360×725×295
17-2 道具帳
17-3 チラシ

18. NODA・MAP 第17回公演「エッグ」
(東京芸術劇場プレイハウス/2012年9月5日-10月28日)
18-1 舞台模型 / 2013 / 320×800×420
18-2 道具帳
18-3 平面図
18-4 チラシ

19. エドワード二世
(新国立劇場/2013年10月8日-10月27日)
19-1 舞台模型 / 2014 / 237×335×455

20. 国民の映画
(PARCO劇場/2014年2月8日-4月6日)
20-1 舞台模型 / 2018 / 230×425×363
20-2 道具帳
20-3 脚本
20-4 チラシ

21. スーパー歌舞伎II ワンピース
(新橋演舞場、他/2015年10月7日-11月25日)
21-1 舞台模型 / 2018 / 150×480×360

22. モーツァルト歌劇「ファイガロの結婚」
〜庭師は見た!〜新演出
(金沢歌劇場、他/2015年10月22日-11月14日)
22-1 舞台模型 / 2018 / 270×515×515
22-2 チラシ

23. NODA・MAP 第20回公演「逆鱗」
(東京芸術劇場プレイハウス/2016年1月29日-4月3日)
23-1 舞台模型 / 2018 / 287×427×335
23-2 道具帳
23-3 美術プランスケッチ
23-4 チラシ

24. Vamp Bamboo Burn〜ヴァンパイアバーン!〜
(赤坂ACTシアター/2016年8月5日-10月31日)
24-1 舞台模型 / 2018 / 520×550×365
24-2 道具帳
24-3 美術プランスケッチ
24-4 舞台写真

25. いしぶみ
(映画/2016年7月16日、劇場公開)
25-1 舞台模型 / 2018 / 150×360×430
25-2 予告編映像

16. TEAMNACS ニッポン公演
WARRIOR〜唄い続ける侍ロマン
(札幌市民ホール、他/2012年3月30日-6月10日)
16-1 舞台模型 / 2018 / 190×520×370

17. 三文音楽 其れ成心中
(PARCO劇場、他/2012年8月11日-8月22日)
17-1 舞台模型 / 2018 / 360×725×295
17-2 道具帳
17-3 チラシ

18. NODA・MAP 第17回公演「エッグ」
(東京芸術劇場プレイハウス/2012年9月5日-10月28日)
18-1 舞台模型 / 2013 / 320×800×420
18-2 道具帳
18-3 平面図
18-4 チラシ

19. エドワード二世
(新国立劇場/2013年10月8日-10月27日)
19-1 舞台模型 / 2014 / 237×335×455

20. 国民の映画
(PARCO劇場/2014年2月8日-4月6日)
20-1 舞台模型 / 2018 / 230×425×363
20-2 道具帳
20-3 脚本
20-4 チラシ

21. スーパー歌舞伎II ワンピース
(新橋演舞場、他/2015年10月7日-11月25日)
21-1 舞台模型 / 2018 / 150×480×360

22. モーツァルト歌劇「ファイガロの結婚」
〜庭師は見た!〜新演出
(金沢歌劇場、他/2015年10月22日-11月14日)
22-1 舞台模型 / 2018 / 270×515×515
22-2 チラシ

23. NODA・MAP 第20回公演「逆鱗」
(東京芸術劇場プレイハウス/2016年1月29日-4月3日)
23-1 舞台模型 / 2018 / 287×427×335
23-2 道具帳
23-3 美術プランスケッチ
23-4 チラシ

24. Vamp Bamboo Burn〜ヴァンパイアバーン!〜
(赤坂ACTシアター/2016年8月5日-10月31日)
24-1 舞台模型 / 2018 / 520×550×365
24-2 道具帳
24-3 美術プランスケッチ
24-4 舞台写真

25. いしぶみ
(映画/2016年7月16日、劇場公開)
25-1 舞台模型 / 2018 / 150×360×430
25-2 予告編映像

16. TEAMNACS ニッポン公演
WARRIOR〜唄い続ける侍ロマン
(札幌市民ホール、他/2012年3月30日-6月10日)
16-1 舞台模型 / 2018 / 190×520×370

17. 三文音楽 其れ成心中
(PARCO劇場、他/2012年8月11日-8月22日)
17-1 舞台模型 / 2018 / 360×725×295
17-2 道具帳
17-3 チラシ

18. NODA・MAP 第17回公演「エッグ」
(東京芸術劇場プレイハウス/2012年9月5日-10月28日)
18-1 舞台模型 / 2013 / 320×800×420
18-2 道具帳
18-3 平面図
18-4 チラシ

19. エドワード二世
(新国立劇場/2013年10月8日-10月27日)
19-1 舞台模型 / 2014 / 237×335×455

20. 国民の映画
(PARCO劇場/2014年2月8日-4月6日)
20-1 舞台模型 / 2018 / 230×425×363
20-2 道具帳
20-3 脚本
20-4 チラシ

21. スーパー歌舞伎II ワンピース
(新橋演舞場、他/2015年10月7日-11月25日)
21-1 舞台模型 / 2018 / 150×480×360

22. モーツァルト歌劇「ファイガロの結婚」
〜庭師は見た!〜新演出
(金沢歌劇場、他/2015年10月22日-11月14日)
22-1 舞台模型 / 2018 / 270×515×515
22-2 チラシ

23. NODA・MAP 第20回公演「逆鱗」
(東京芸術劇場プレイハウス/2016年1月29日-4月3日)
23-1 舞台模型 / 2018 / 287×427×335
23-2 道具帳
23-3 美術プランスケッチ
23-4 チラシ

24. Vamp Bamboo Burn〜ヴァンパイアバーン!〜
(赤坂ACTシアター/2016年8月5日-10月31日)
24-1 舞台模型 / 2018 / 520×550×365
24-2 道具帳
24-3 美術プランスケッチ
24-4 舞台写真

25. いしぶみ
(映画/2016年7月16日、劇場公開)
25-1 舞台模型 / 2018 / 150×360×430
25-2 予告編映像

16. TEAMNACS ニッポン公演
WARRIOR〜唄い続ける侍ロマン
(札幌市民ホール、他/2012年3月30日-6月10日)
16-1 舞台模型 / 2018 / 190×520×370

17. 三文音楽 其れ成心中
(PARCO劇場、他/2012年8月11日-8月22日)
17-1 舞台模型 / 2018 / 360×725×295
17-2 道具帳
17-3 チラシ

18. NODA・MAP 第17回公演「エッグ」
(東京芸術劇場プレイハウス/2012年9月5日-10月28日)
18-1 舞台模型 / 2013 / 320×800×420
18-2 道具帳
18-3 平面図
18-4 チラシ

19. エドワード二世
(新国立劇場/2013年10月8日-10月27日)
19-1 舞台模型 / 2014 / 237×335×455

20. 国民の映画
(PARCO劇場/2014年2月8日-4月6日)
20-1 舞台模型 / 2018 / 230×425×363
20-2 道具帳
20-3 脚本
20-4 チラシ

21. スーパー歌舞伎II ワンピース
(新橋演舞場、他/2015年10月7日-11月25日)
21-1 舞台模型 / 2018 / 150×480×360

22. モーツァルト歌劇「ファイガロの結婚」
〜庭師は見た!〜新演出
(金沢歌劇場、他/2015年10月22日-11月14日)
22-1 舞台模型 / 2018 / 270×515×515
22-2 チラシ

23. NODA・MAP 第20回公演「逆鱗」
(東京芸術劇場プレイハウス/2016年1月29日-4月3日)
23-1 舞台模型 / 2018 / 287×427×335
23-2 道具帳
23-3 美術プランスケッチ
23-4 チラシ

24. Vamp Bamboo Burn〜ヴァンパイアバーン!〜
(赤坂ACTシアター/2016年8月5日-10月31日)
24-1 舞台模型 / 2018 / 520×550×365
24-2 道具帳
24-3 美術プランスケッチ
24-4 舞台写真

25. いしぶみ
(映画/2016年7月16日、劇場公開)
25-1 舞台模型 / 2018 / 150×360×430
25-2 予告編映像

②イタリアフェスタ

新規

こけら落とし公演「アイダ」の作曲家であるジュゼッペ・ヴェルディの母国イタリアをテーマとした、食品や雑貨などを販売する物産展を開催。会期中は、北海道出身のチョークアーティストHanaeによる、会場のメイン看板を作り上げるライブドローイングイベントを実施した。



期 日：平成30年10月7日（日） 11:00～19:00
10月8日（月・祝）、9日（火） 10:00～19:00

会 場：SCARTSモール

主 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

出 店：オリーブオイル市場、ファットリアピオ北海道、
CHIOSCO、chouette、北のやさいや Veggie
Shop あさだ、ポロコセレクトパンプース

入場料：無料

入場者数：13,116名

〈関連事業〉

（1）ライブドローイングイベント

期 日：平成30年10月7日（日）～9日（火）

①11:30～12:30

②16:00～17:30

会 場：SCARTSモール

出 演：Hanae（チョークアーティスト）

入場料：無料

入場者数：2,125人

③ものづくりチャレンジDAY

新規

札幌市内の企業及び職能団体と連携し、子どもから大人までを対象としたものづくりワークショップを実施。



期 日：平成30年10月20日（土） 10:00～16:00

会 場：SCARTSスタジオ・SCARTSモール

主 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

出 展：モリタ株式会社、札幌大同印刷株式会社

①紙箱&マスキングテープでオリジナルボックスづくり

②段ボールで「へんしんボックス」をつくらう！

③手すき和紙でつくる貼箱制作体験

山藤三陽印刷株式会社

④シルクスクリーン印刷でオリジナルランチバッグをつくらう！

⑤とびだす！メッセージカードをつくらう！

札幌貴金属工芸組合

⑥純銀ねんどでストラップをつくらう！

入場料：①500円

②300円

③2,000円

④1,000円

⑤無料

⑥500円

入場者数：①26人

②53人

③8人

④15人

⑤156人

⑥100人

ワークショップに参加しなかった入場者を含め、のべ1,940人

市民交流プラザ事業部

主催事業

④ まちなかお昼のおんがくかい

新規

市民がランチタイムに気軽に文化芸術に触れる機会を創出することを目的として、SCARTSコートで音楽コンサートを開催。

(1) 第1回まちなかお昼のおんがくかい～花鳥風月～

平成29年度札幌市民芸術祭受賞者によるピアノ演奏と書道パフォーマンスのコラボレーションを実施した。



期 日：平成30年11月2日（金） 12:10～12:55

会 場：SCARTSコート

主 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）

後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会、北海道文化財団、beyond2020プログラム

出 演：反保沙季（ピアノ）、樺澤奈々（書道）

入場料：無料

入場者数：304人

曲 目：花：シューマン（リスト編曲）
歌曲集《ミルテの花》より「猷呈」

鳥：グリンカ＝バラキレフ

「ひばり」

風：ドビュッシー

前奏曲集第1巻より第7曲「西風のみたもの」

月：ドビュッシー

ベルガマスク組曲第3曲「月の光」

花鳥風月：ショパン

「小犬のワルツ」

(2) 第2回まちなかお昼のおんがくかい～珠玉のヴァイオリン名曲集～

読売日本交響楽団首席ヴァイオリン奏者の瀧村依里とピアノ奏者入江一雄によるヴァイオリンの名曲コンサートを実施した。



期 日：平成30年11月15日（木） 12:10～12:55

会 場：SCARTSコート

主 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）

後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会、北海道文化財団、beyond2020プログラム

出 演：瀧村依里（ヴァイオリン）、入江一雄（ピアノ）

入場料：無料

入場者数：373人

曲 目：チャイコフスキー

『なつかしい土地の思い出』より「メロディ」
クロール

「バンジョーとフィドル」

クライスラー

「レチタティーヴォとスケルツォ・カプリース」

ポルディーニ（クライスラー編曲）

「踊る人形」

ボンセ

「エストレリータ」

ドビュッシー

「ゴリウォークのケーキウォーク」

ラヴェル

「ツイガーヌ」

コルンゴルト

「雪だるまのセレナーデ」

(3) 第3回まちなかお昼のおんがくかい～ヘンゼルとグレーテル～

木管五重奏団ウィンドアンサンブル・ポロゴとonちゃんおはなし隊による、オペラ「ヘンゼルとグレーテル」を題材とした演奏付読み聞かせを行った。



期 日：平成30年12月5日（水） 12:10～12:55
 会 場：SCARTSコート
 主 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）
 後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会、北海道文化財団、beyond2020プログラム
 出 演：木管五重奏団ウィンドアンサンブル・ポロゴ
 onちゃんおはなし隊（森さやか、依田英将）
 入場料：無料
 入場者数：285人
 曲 目：フンパーディンク
 オペラ「ヘンゼルとグレーテル」（翻訳 明石さゆり）
 HTB開局50周年ソング ハイタッチ

（4）第4回まちなかお昼のおんがくかい～魅惑のソプラノコンサート～

北海道文化財団が推薦するHAFアーティストであるソプラノ奏者佐々木アンリとピアノ奏者石田敏明を招へいし、ソプラノの名曲を中心としたコンサートを実施した。



期 日：平成31年1月11日（金） 12:10～12:55
 会 場：SCARTSコート
 主 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）、北海道文化財団
 後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会、beyond 2020プログラム
 出 演：佐々木アンリ（ソプラノ）、石田敏明（ピアノ）
 入場料：無料

入場者数：258人

曲 目：メンデルスゾーン
 「歌の翼に」
 シューベルト
 「のぼら」
 「春の信仰」
 フォーレ
 「蝶と花」
 プーランク
 「愛の小路」
 ショパン
 「ノクターン」
 レハール
 『ジュディエッタ』より「くちづけよりも熱く」
 プッチーニ
 『ジャンニ・スキッキ』より「私のお父さん」
 ヴェルディ
 『椿姫』より「花から花へ」

（5）第5回まちなかお昼のおんがくかい～ピアノの魔術師リストによせて～

第7回リスト音楽院セミナー（札幌コンサートホール主催）にて、最優秀受講生として表彰された経歴を持つピアノ奏者の永沼絵里香を迎え、ピアノの魔術師と呼ばれたフランツ・リストの曲を中心に華麗なコンサートを実施した。



期 日：平成31年2月12日（火） 12:10～12:55
 会 場：SCARTSコート
 主 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）
 後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会、北海道文化財団、beyond2020プログラム
 出 演：永沼絵里香（ピアノ）
 入場料：無料
 入場者数：214人
 曲 目：リスト
 3つの演奏会用練習曲より

市民交流プラザ事業部

主催事業

第3曲 変ニ長調「ため息」
巡礼の年 第3年より「エステ荘の噴水」
ラヴェル
「水の戯れ」
リスト
愛の夢ー3つの夜想曲より
第3曲「おお、愛しうる限り愛せ」
パガニーニによる大練習曲集より
第3曲「ラ・カンパネラ」
ショパン
エチュード「黒鍵」

「愛の挨拶」
マンシーニ
「ムーンリバー」
メンケン
「ホール・ニュー・ワールド」
モリコーネ
「ニューシネマパラダイスメドレー」
中島みゆき
「糸」

(6) 第6回まちなかお昼のおんがくかい～愛を奏でて～

札幌市民交流プラザイベント「まちなかコンサート～東区～」(平成28年11月27日)で共演したピアノ奏者の長内一真とフルート奏者の関口さくらを招いたコンサートを実施した。コンサートでは、愛をテーマに、クラシック、ジャズ、映画音楽など幅広いジャンルから聞きなじみのある曲が演奏された。



期 日：平成31年3月15日(金) 12:10～12:55
会 場：SCARTSコート
主 催：市民交流プラザ(札幌市芸術文化財団)
後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会、北海道文化財団、beyond2020プログラム
出 演：長内一真(ピアノ)、関口さくら(フルート)
入場料：無料
入場者数：276人
曲 目：クライスラー
「愛の喜び」
シャミナード
「コンチェルティーノ」
ショパン
「ワルツop64-2」
ロジャース
「マイ・フェイバリット・シングス」
エルガー

⑤はじめましてクラシック～ヴァイオリン&ピアノ **新規**

未就学児と保護者を対象として、東京文化会館で実施されている参加型コンサートを開催。ヴァイオリンとピアノの演奏を、東京文化会館ワークショップ・リーダーのリードで気軽に楽しく鑑賞するプログラムを実施した。



期 日：平成30年11月15日(木) 10:00～11:00
会 場：SCARTSコート
主 催：市民交流プラザ(札幌市芸術文化財団)
後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会、北海道文化財団、beyond2020プログラム
出 演：たかせみお(東京文化会館ワークショップ・リーダー)、瀧村依里(ヴァイオリン)、入江一雄(ピアノ)
入場料：親子セット券(子ども1名、同伴者1名)1,000円
子ども券500円 同伴券500円
入場者数：77人
曲 目：マスネ
「タイスの瞑想曲」
ドビュッシー
『小組曲』より バレエ
クロール
「バンジョーとフィドル」
ドビュッシー
『小組曲』より「小舟にて」

クライスラー
「中国の太鼓」
ラヴェル
「泣き王女のためのパヴァーヌ」
ドビュッシー
「ゴリウォークのケーキウォーク」
エルガー
「愛の挨拶」
ドビュッシー
「月の光」
ラフマニノフ
「パガニーニの主題による狂詩曲 第18変奏」

⑥ SCARTS×SOMES SADDLEものづくりの夜 ～北海道と馬と革～ **新規**

普段、文化施設に足を運ぶ機会が少ないビジネスパーソンを対象に、文化芸術に触れるきっかけ作りの場として、砂川市に拠点を構える馬具メーカーソメスサドル株式会社と共に革小物ものづくりワークショップを開催した。



期 日：平成31年 3月15日（金） 18:30～20:00
会 場：SCARTSコート
主 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）
協 力：ソメスサドル株式会社
後 援：北海道、札幌市
出 演：加藤幸治郎（ソメスサドル株式会社）
森さやか（北海道テレビ放送株式会社）
受講料：3,000円（税込）
入場者数：30人

⑦ 連携事業 **新規**

（1）さっぽろアートステージ2018

美術、音楽、演劇など、札幌でさまざまな“アートの入口”を開く秋のイベント「さっぽろアートステージ」の美術部門として札幌駅前通地下歩行空間で毎年開催されてきた「ART STREET」が、新たに開館した

SCARTSを会場に加え、「みる・つくる・かう・はなす・きく。アートを楽しむ5つの方法」をテーマとして開催された。



期 日：平成30年11月3日（土・祝）～28日（水）
会 場：SCARTSコート・SCARTSスタジオ・SCARTSモール
主 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）
主 催：さっぽろアートステージ実行委員会（札幌劇場連絡会・札幌市中学校文化連盟音楽専門委員会・北海道高等学校文化連盟石狩支部音楽専門部・エフエム北海道・CAI現代芸術研究所・札幌駅前通まちづくり株式会社・札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

入場料：無料

入場者数：21,992人

1. 「OPEN STUDIO」

ガラス張りのSCARTSスタジオで、名古屋を拠点とする山城大督が、時計をテーマとしたメディアアート・インスタレーションの公開制作や展示、感受性をテーマとしたワークショップを行った。

2. 「ART GARDEN」

2階のSCARTSモールでは、森迫暁夫がシルクスクリーンで高さ10mの窓を覆い、小助川裕康がフキを模した高さ4mの造形作品を立て、ビル内に美術の庭を出現させた。

3. 「ART MARKET WALL」

1階のオープンスペース・SCARTSモールに特設したL字型の壁で展示販売を行い、札幌を拠点に活躍するアーティストの作品を購入するという楽しみ方を市民に提案した。

4. 「KIDS ART FES」ワークショップ

週末にはSCARTSコートで、札幌を拠点とする様々なアーティストが講師を務める子ども向けの造形ワークショップが行われた。

市民交流プラザ事業部

主催事業

(2) 第20代札幌コンサートホール専属オルガニスト シモン・ボレノ トークイベント in SCARTS

新たに就任したフランス生まれのオルガニストが、これまでの活動や札幌での新生活についてトークを行った。また、札幌コンサートホールでの開催を控えた「クリスマスオルガンコンサート」にちなみ、電子オルガンでJ.Sバッハの楽曲を演奏した。



期 日：平成30年12月13日（木）

会 場：SCARTSコート

主 催：市民交流プラザ、札幌コンサートホール（札幌市芸術文化財団）

出 演：シモン・ボレノ（第20代札幌コンサートホール専属オルガニスト）

入場料：無料

入場者数：164人

曲 目：J.Sバッハ

クリスマスの歌によるカノン風変奏曲

「高さ天より、われは来たり」BWV769

「目覚めよ、と呼ぶ声あり」BWV645

(3) 2018年度 国際公募アーティスト・イン・レジデンス (AIR) 事業 s(k)now [snow+know] アーティスト・トーク

さっぽろ天神山アートスタジオが、国際的に活動するアーティストを冬の札幌へ招聘し、滞在制作活動と滞在成果発表を支援するプロジェクトに関連して、滞在期間の前期と後期の2度にわたり、SCARTSでのアーティスト・トークを行った。



1. アーティスト・トーク「雪・冬・北方圏とアーティスト」

期 日：平成31年1月13日（日） 18:30～21:00

会 場：SCARTSコート

主 催：札幌市、一般社団法人AISプランニング、市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）

支 援：文化庁

ゲスト：2018年度 s(k)now 招聘アーティスト 4組

・エリス・イーラエット（ベルギー）

・マドゥ・ダス（インド）

・フランソワ・レミュー（カナダ）

・コンスタンス&アレクサンダー・ヒンフライ（オーストリア）

モデレーター：島袋道浩（アーティスト、2018年度国際公募AIRプログラム選考委員）

入場料：無料

入場者数：45人

2. アーティスト・トーク「都市と都市」

期 日：平成31年2月12日（火） 19:00～21:00

会 場：SCARTSコート

主 催：札幌市、市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）

ゲスト：三原聡一郎（アーティスト、2018年度国際公募AIRプログラム選考委員）

入場料：無料

入場者数：36人

(4) Sapporo WinterChange

厳しい冬をアートでいかに楽しくできるのかをテーマに、札幌市北3条広場“アカブラ”での「さっぽろユキテラス」や札幌市資料館で開催する「さっぽろ垂氷まつり」との連携プロジェクトとして、北海道で過去に開催された冬のアートプロジェクトを辿るアーカイブ展「What's winter art? -冬のアートを辿る-」や、除雪に焦点を当てSIAFラボと共同制作したメディアアート展示「SNOW PLOW TRACE-雪の痕跡-」、連携イベントに関連するトークイベントを開催した。



期 日：平成31年2月1日（金）～6日（水） 10:00～18:00

会 場：SCARTSコート・SCARTSスタジオ

主 催：札幌市

企画運営：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）

協 力：札幌国際芸術祭実行委員会、札幌駅前通地区活性化委員会

助 成：平成30年度文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

入場料：無料

入場者数：2,077人

<関連事業>**1. トークセッション**

「What's winter art? -冬のアートを繋ぐ-」

期 日：平成31年2月2日（土） 14:00～16:00

ルネーター：柴田尚（特定非営利活動法人S-AIR代表／北海道教育大学岩見沢校教授）、漆崇博（一般社団法人AISプランニング代表理事）、今村育子（美術家／札幌駅前通まちづくり株式会社）

モデレーター：吉崎元章（札幌文化芸術交流センター SCARTS プログラムディレクター）

2. トークセッション「さっぽろユキテラス 2019アーティストトーク」

期 日：平成31年2月3日（日） 13:30～15:30

スピーカー：今村遼佑、小金沢健人、タムラサトル、山内祥太、ラップランド大学芸術・デザイン学部

モデレーター：高橋喜代史（美術家／一般社団法人PROJECTA

ディレクター）

3. 札幌国際芸術祭2020 ディレクターズトーク第2弾「とっておきの『メディアアート』大集合！」

期 日：平成31年2月3日（日） 16:30～18:30

スピーカー：アグニエシュカ・クビツカ＝ジェドシエツカ（SIAF2020企画ディレクター [メディアアート担当]）、馬定延（研究者）、小町谷圭（SIAFラボ プロジェクトディレクター）

モデレーター：細川麻沙美（札幌国際芸術祭事務局統括マネージャー）

(5) パッケージデザインコンテスト北海道2018展示会

全国のデザイナーから公募した商品パッケージデザイン作品コンテストの表彰式と優秀作品を含めた応募作品全点の展示会を経済産業省北海道経済産業局と共に開催した。



期 日：平成31年2月23日（土）～28日（木） 10:00～19:00

会 場：SCARTSスタジオ・SCARTSモール

主 催：経済産業省北海道経済産業局地域経済部産業技術課知的財産室

共 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市

入場料：無料

入場者数：3,152人

関連事業：

(1) 表彰式・トークショー

パッケージデザインコンテストの表彰式と、審査員による講評を兼ねたトークショーを実施した

期 日：平成31年2月23日（土） 13:30～15:30

会 場：SCARTSスタジオ

出 演：富田光浩（ONE INC.）

寺島賢幸（寺島デザイン制作室）

鎌田順也（KD）

入場料：無料

入場者数：102人

市民交流プラザ事業部

主催事業

⑧公募企画事業

新規

(1) Sapporo Photo 2018 札幌「写真都市」祭

北海道を発信・応援する写真家たちが、来場者と写真、そして札幌を繋ぐため、市民参加型の写真展やトークセッション、チャリティ・フォトマーケットなど、様々なアプローチで写真を楽しめるプログラムを展開した。



期 日：平成30年12月1日（土）～10日（月） 10:00～20:00
会 場：SCRATSコート・SCARTSスタジオ・SCARTS
モール
主 催：NPO法人北海道を発信する写真家ネットワー
ク、市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）
入場料：無料
入場者数：22,185人

(2) 第2マルバ会館 ムービング・ウィンター

ノマドシアター・第2マルバ会館が企画したファミリー向けの体験型映画上映イベント。ドイツオーバーハウゼン国際短編映画祭のファミリー向けセレクション作品上映会を開催したほか、アニメーション制作を体験できるワークショップを行った。



期 日：平成30年12月23日（日） 13:00～17:00
会 場：SCARTSコート・SCARTSスタジオ
主 催：第2マルバ会館、市民交流プラザ（札幌市芸術
文化財団）
入場料：上映会 予約1,000円、当日1,200円
ワークショップ 1,000円
入場者数：84人（上映会69人、ワークショップ15人）

(3) リアル謎解きイベント「モイロの箱」

hitaruやSCARTS、図書・情報館、MORIHICO.など、館内の各施設にまつわる謎を解く周遊型ゲームを楽しみながら施設を知ることができる企画を実施した。



期 日：平成31年1月17日（木）～27日（日） 10:00～21:00
会 場：SCARTSスタジオ・SCARTSモール
主 催：株式会社クラグラ、市民交流プラザ（札幌市芸術
文化財団）
入場料：一般2,000円 学割1,500円
※対象年齢は中学生以上、小学生以下は大人同
伴での参加
入場者数：829人

(4) ワビサビ結成20周年展「ワビサビはどこから来たのか？ワビサビは何者か？ワビサビはどこへ行くのか？」

札幌のアートディレクターとグラフィックデザイナーによるデザインコンピが結成20年の節目として、結成初期から現在までにデザインしたポスターやロゴマーク、書体、プロダクト、アート作品などの代表作を展示した。



期 日：平成31年1月19日（土）～30日（水） 10:00～19:00
会 場：SCARTSコート
主 催：デザ院株式会社、市民交流プラザ（札幌市芸術
文化財団）
入場料：無料
入場者数：5,117人

(5) SNOW MIKU 2019

2010年の「さっぽろ雪まつり」から始まり今年で10周年を迎える雪ミク企画として、初音ミクを取り巻く創作文化が楽しめる様々な企画を実施した。



雪ミク2019 ©Crypton Future Media, INC. www.piapro.net

期 日：平成31年2月9日(土)～10日(日)
会 場：SCARTSコート・SCARTSスタジオ・SCARTSモール
主 催：クリプトン・フューチャー・メディア株式会社、
 市民交流プラザ(札幌市芸術文化財団)
入場料：無料(一部除く)
入場者数：約5,000人

(6) 札幌×コスプレ×マーケット サツコマ!

館内の様々なロケーションで、コスプレと撮影を楽しむながら交流する撮影会、二次創作展とアートマーケットを行い、札幌のポップカルチャーを持ち寄った2日間限定のお祭りを開催した。



期 日：平成31年2月16日(土)～17日(日) 10:00～18:00
会 場：SCARTSコート・SCARTSスタジオ・SCARTSモール
主 催：インバーダーズクリエイティブグループ、ドラマチッククリエイション&エンターテイメント企画、市民交流プラザ(札幌市芸術文化財団)
入場料：<コスプレ撮影会>参加費：一律1500円
 <CE: Meets 二次創作展>
 <YAMI 1～ヤミイチ～>
 ※共に会場観覧は無料

入場者数：1,686人

<コスプレ撮影会>372人
 <CE: Meets 二次創作展>450人
 <YAMI 1～ヤミイチ～>864人

(7) Nameless landscape

「風景」をテーマとした展覧会。自然の景観だけではなく、目に見えない世界や日常のふとした瞬間、遠い記憶の情景などを表現した9名の作家の作品を展示した。



期 日：平成31年2月24日(日)～3月4日(月)
会 場：SCARTSコート・SCARTSスタジオ
主 催：石井誠・中村一典(共同企画)、市民交流プラザ
 (札幌市芸術文化財団)

入場料：無料
入場者数：4,564人

(8) 第17回サッポロ未来展

北海道ゆかりの若手美術家を中心とした全27名の作品を展示したほか、各作家の作品やグッズの販売なども行なった。



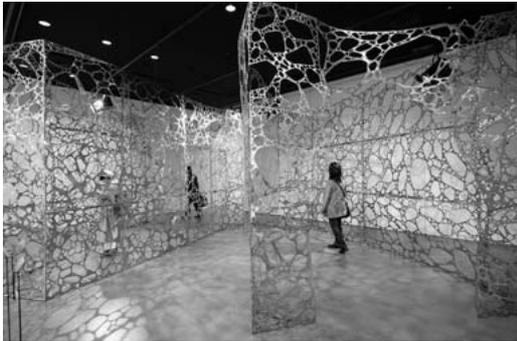
期 日：平成31年3月7日(木)～12日(火)
会 場：SCARTSコート・SCARTSスタジオ
主 催：サッポロ未来展実行委員会、市民交流プラザ
 (札幌市芸術文化財団)
入場料：無料
入場者数：3,860人

市民交流プラザ事業部

主催事業

(9) 川上りえ個展 Landscape Will 2019

石狩市の美術家が、自身にとって過去最大のスケールで幅5mにも及ぶ2つの岩壁のような金属立体造形作品を公開制作。会場の特徴であるガラス壁の外側から、巨大な作品の内部から、多様な視点で鑑賞できる新作を発表した。



期 日：平成31年3月18日（月）～31日（日） 11:00～19:00

会 場：SCARTSスタジオ

主 催：川上りえ、市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）

入場料：無料

入場者数：1,612人

(10) 北海道教育大学・実験劇場第8回公演マドリガレ・オペラ「土方歳三最後の戦い」～義に殉じた男～

オペラ歌手育成のため実践の場を創出している実験劇場が、北海道、函館で繰り広げられた幕末戦争の史実を音楽舞台化し、演奏会形式で公演した。舞台美術として、船岳絃行による点描画が映像投影された。



期 日：平成31年3月23日（土） 16:00～17:40

会 場：SCARTSコート

主 催：北海道教育大学・実験劇場、市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）

入場料：無料（要入場整理券）

入場者数：120人

(11) 弦巻楽団 わたしたちの街の「ジュリアス・シーザー」

シェイクスピアによる史劇の傑作、「ジュリアス・シーザー」を、札幌を拠点に活動する弦巻啓太の演出で上演した。公開制作期間を設けて市民が飛び入りで参加できるようにしたほか、舞台を客席で挟むように設置する事で、役者と観客が交流できるようにするなど、ユニークな上演を行なった。



期 日：平成31年3月24日（日）～4月1日（月）

会 場：SCARTSコート

主 催：一般社団法人劇団弦巻楽団、市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）

入場料：[前売] 一般2,500円 学生1,500円

小学生以下 無料（要予約）

[当日] 一般3,000円 学生2,000円

小学生500円

入場者数：641人

⑨ プレイベント

(1) まちなかコンサート (豊平区)

平成26年から市民交流プラザの開館を告知してきた、通算9回目となるまちなかコンサートを、豊平区の札幌トヨペット月寒店で開催した。コンサートでは、オペラ音楽、バレエ音楽、ディズニー音楽など、誰もが聞きなじみのあるプログラムが演奏されるとともに、フルートの音の出し方の仕組みを、実演を交えて解説を行った。



期 日：平成30年4月14日（土） 13:00～14:00
会 場：札幌トヨペット月寒店
主 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）
後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会
出 演：松本綾（フルート）、亀谷妃都美（フルート）、三上怜奈（ピアノ）
入場料：無料
入場者数：152人
曲 目：ビゼー

『カルメン』より「間奏曲」
 マスカーニ
 『カヴァレリア・ルスティカーナ』より「間奏曲」
 プッチーニ
 『トゥーランドット』より「誰も寝てはならぬ」
 チャイコフスキー
 『白鳥の湖』より「小さな白鳥の踊り」、「情景」
 『くるみ割り人形』より「行進曲」、「あし笛の踊り」、「花のワルツ」
 ショパン
 小犬のワルツ
 プライヤー
 口笛吹きと犬
 『わんわん物語』より「ラ・ラ・ルー」
 『白雪姫』より「いつか王子様が」
 小さな世界
 『アラジン』より「ホール・ニュー・ワールド」
 アンドレギヤニオン

「愛につつまれて」

(2) まちなかコンサート (手稲区)

まちなかコンサート10回目は、手稲区の手稲溪仁会病院で開催した。コンサートでは、オペラ音楽、バレエ音楽、ディズニー音楽など、誰もが聞きなじみのあるプログラムの演奏を行い、会場周辺在住の方々のほか、長期入院の方に、生の演奏を鑑賞する機会を提供することができた。コンサートの最後には、来場者と一緒に、ピアノとフルートの伴奏で「ふるさと」を歌い、平成28年11月より開始したまちなかコンサートシリーズを締めくくった。



期 日：平成30年4月28日（土） 14:00～15:00
会 場：手稲溪仁会病院
主 催：市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）
後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会
出 演：松本綾（フルート）、亀谷妃都美（フルート）、三上怜奈（ピアノ）
入場料：無料
入場者数：148人
曲 目：ビゼー

『カルメン』より「間奏曲」
 プッチーニ
 『トゥーランドット』より「誰も寝てはならぬ」
 チャイコフスキー
 『白鳥の湖』より「小さな白鳥の踊り」、「情景」
 『くるみ割り人形』より「あし笛の踊り」、「花のワルツ」
 プライヤー
 口笛吹きと犬
 『わんわん物語』より「ラ・ラ・ルー」
 『白雪姫』より「いつか王子様が」
 小さな世界
 『アラジン』より「ホール・ニュー・ワールド」
 ふるさと

広報・利用促進に関する事業

1 施設開館関連

10月7日の施設開館を記念して、式典、祝賀会及びオープニングセレモニーを行った。また、施設の運用のシミュレーションのため、開館準備トレーニング及び避難訓練コンサートを行った。

①開館記念式典等

(1) 開館記念式典



期 日：平成30年10月6日（土） 14:00～15:30

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

内 容：記念ファンファーレ披露、施設紹介映像上映、
アンドレア・バッティストーニ指揮札幌交響楽
団記念演奏他、終了後1・2階の施設見学

出席者数：1,509人

(2) 開館記念祝賀会

期 日：平成30年10月6日（土） 17:00～18:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru 6階ホワイエ

出席者数：345人

(3) オープニングセレモニー



期 日：平成30年10月7日（日） 10:30～11:00

会 場：SCARTSコート前

内 容：テープカット参加者

新規

②施設運用シミュレーション

新規

(1) 開館準備トレーニング

期 日：平成30年8月4日（土） 13:45～16:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

内 容：実際の公演と同じ状況で劇場運営の演習の実施、
及び尾高忠明指揮 札幌交響楽団による演奏を
行った。

入場者数：メンバーズ会員による抽選他 1,522人

(2) 避難訓練コンサート

期 日：平成30年8月25日（土） 14:00～16:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

内 容：公演中の出火を想定した避難訓練の実施、及び
札幌市消防音楽隊による演奏を行った。

入場者数：メンバーズ会員による抽選他 554人

2 広報

①施設PRの強化

主催事業チケットの販売促進や施設入館者数の目標達成を目指し、情報誌等の印刷物やホームページ、フェイスブック、ツイッター等の媒体を活用して、札幌市民交流プラザの機能や事業の広報を積極的に行った。

また、施設の開館を広く市民に知らせるため、以下の広報を行った。

(1) 市・区役所等巡回ロビーパネル展等

4月11日に市役所及び中央図書館ロビーより開始し、10月1日終了の手稲自由通路まで、ロビー巡回パネル展を開催、さらに、大通地下街オーロラスクエアでも9月25日から10月22日までパネル展を実施した（10月6日から9日を除く）。

また、市・区役所、区民センター、中央・地区図書館にバナー広告やポスターの掲出、市役所内に大型ポスターやエレベーター内マグネットポスターの掲示等を行った。

(2) 協賛広告枠の活用

札幌文化芸術劇場 hitaruオフィシャルスポンサー企業の広告協賛等を活用し、地下鉄大通駅コンコース及び地下街オーロラタウン、丘珠空港、市内大型スーパーマーケット、路線バス車内等において動画の放映やポスター広告の掲示等を行った。

(3) 各種パブリシティによる施設紹介

新聞、雑誌、テレビ、ウェブメディア等の各種媒体を活用して、施設開館のPRを積極的に行った。

② 広報印刷物の新規制作

新規

(1) 情報誌「WAVE TIMES」

札幌市民交流プラザの情報誌「WAVE TIMES」を3回（6月、11月、2月）各3万部発行し、区役所等施設・各種イベント会場で配布したほか、関係団体等に送付した。施設開館後となる11月発行の第5号からは冊子の規格や内容を一新し、情報誌として一層の充実を図った。

さらに、開館50日前の8月18日に特別号を発行、16ページのタブロイド版で400,000部作成し、北海道新聞朝刊に折り込んで札幌市、江別市、石狩市（厚田区と浜益区は除く）、北広島市に広く配布した。

(2) イベントスケジュール冊子「PLAS」

札幌市民交流プラザを構成する3施設のイベントを掲載するスケジュール冊子「PLAS」を9月20日に創刊、以降隔月20日各3万部発行とし、地下鉄駅券売機横パンフレットラックに配架したほか、区役所等公共施設等で配布、関係団体等に送付した。

(3) 「創成おさんぽMAP」

近隣地域のにぎわいを醸成するため、メンバーズ会員向け特典提供店を紹介する地図形式の冊子を作成、A3判ジャバラ折A6仕上げで50,000部作成し、開館記念式典で出席者に配布したほか、区役所等公共施設等で配布、関係団体等に送付、プラザ館内各所で配架した。また、3月には改訂版を発行した。

③ ホームページのリニューアル

新規

施設開館の50日前に当たる8月18日に、従来のティザーサイトに大幅な改修を施したリニューアルサイトを公開した。プラザを構成する3施設それぞれのページやイベント一覧ページを新設するなどサイトを充実させるとともに、スマートフォン・タブレット等各種デバイスに対応するレスポンシブデザインを採用し、利用者

の利便性の向上と管理作業の効率化を図った。また、改修に際してはウェブアクセシビリティへの対応にも留意し、JISX8341-3:2016の適合レベルAA準拠を維持した。

さらに、施設開館の当日である10月7日に英語サイトも公開した。

平成30年度ホームページアクセス数：1,228,903件

3 利用促進

① 施設利用に関する冊子の発行

一般受付の開始に合わせて、施設の特徴や貸館手続きなどを分かりやすく記載した冊子を改訂した。

② 会員制度の構築及び募集

新規

主催公演のチケット先行発売や公演情報の提供などを特典とする会員制度「札幌市民交流プラザメンバーズ」を構築し、平成30年2月15日に開始した会員募集を継続。平成31年3月末までにWEB会員21,377人、DM会員1,986人、計23,363人の会員を集めた。

会員向けサービスとしては、以下のものを実施した。

- ・メールマガジン配信（WEB会員限定。原則1ヶ月に2回）
- ・ダイレクトメール送付（DM会員限定。原則奇数月）
- ・hitaru主催公演のチケット先行販売
- ・プラザ内カフェ・レストランでの特典
- ・市内協力ホテルでの割引等優待サービス
- ・開館準備トレーニング（8月4日）招待（抽選）
- ・避難訓練コンサート（8月25日）招待（抽選）
- ・開館記念式典（10月6日）招待（抽選）
- ・hitaru施設見学会（12月10日）招待（抽選）
- ・「hitaru午後ひととき」リハーサル見学（3月19日）招待（抽選）

③ 協賛制度の構築及び募集

新規

札幌文化芸術劇場 hitaruの主催事業の充実を目的とする「hitaruオフィシャルスポンサー」制度を構築し、平成30年3月1日から募集を開始。平成30年度のスポンサーとして法人87社、個人71人、計158件の協賛を獲得した。

